

## 令和7年度都立竹台高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
<b>国語</b>	自らの考えを適切に表現する学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるために、小テスト等のスモールステップの課題の実施</li> <li>○論理的に考える力や豊かに想像したりする力を伸ばす活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他者との関わりの中で適切に意見を伝え合い深めあうことができるようなグループ活動の実施</li> <li>○変化の激しいこれからの社会に即した課題を設定し、自ら学び表現する活動の実施</li> </ul>
<b>地理 歴史</b>	諸資料から様々な情報を適切、かつ効果的にまとめる力を育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文献史料や写真など史資料が充実した教材を通して、生徒が自分で調べることによって、授業内容を振り返り、新たな課題を見つけることができるような授業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元で横断的な問いを設定する。振り返りシートを用意し、授業後に振り返りと新しい課題を自分で見出す活動を実施する</li> </ul>
<b>公民</b>	公正な判断力を養う指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループワークやICT機器の利用等、資料の読解やグラフの読み取り、複数ある資料の比較を通じて、読解力・分析力・表現力を養う授業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現代における政治・経済の状況と基本的な知識を理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的・対話的に考察させる</li> </ul>
<b>数学</b>	思考力、判断力、表現力を高める指導をし、上位層を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題演習に時間をかけ、解き方の理解を深め、さまざまなバリエーションの問題にも対応できる能力を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長期休業中の講習に加え、定期的になな部や竹台塾を利用することで、発展的な内容を個別に学習できる環境を整える。</li> </ul>
<b>理科</b>	事象を数学的に捉え、表現する学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事象を視覚的に認識し考察できる教材を導入</li> <li>○学びあい教えあいを積極的に取り入れた授業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決の過程を振り返り、考察を深めたり、評価や改善したりする活動の実施</li> </ul>
<b>保健 体育</b>	健康・安全について理解するとともに、運動技能を身に付けさせる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各授業ごとに「主体的に取り組む態度」「思考・判断・表現」「知識・技能」について指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学期「全体の取り組み状況」を鑑み、総合的に評価。レポート課題を実施。自らの健康や運動課題解決に向けて解決するワークシート等を実施</li> </ul>
<b>芸術</b>	「芸術的な見方・考え方」を深化させる表現活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己のイメージをもって表現を創意工夫できる教材の開発</li> <li>○他者と協働し試行錯誤しながら表現を深めたり、作品の良さや価値を見出す等、協働学習を取り入れた授業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループ活動や相互発表を通して互いの表現や考えを知り、実践的・実感的な理解を深める</li> </ul>
<b>英語</b>	「話すこと」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1分間スピーチの実施</li> <li>○ペアワークやグループワークの実施</li> <li>○プレゼンテーションの実施</li> <li>○英検準2～2級程度のスピーキング力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スピーキングテストを実施</li> <li>○オンラインで各科目の振り返りを実施</li> <li>○授業内でのストーリーリテリングの実施</li> <li>○パフォーマンステストを実施し、どの程度の力が身についたかを確認</li> </ul>
<b>家庭</b>	基礎的な知識、技術を身に付けさせる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実習を多く取り入れ、体験させる</li> <li>○自分で完成できたという達成感を持たせる授業の工夫</li> <li>○主権者・消費者教育を充実させ、自立した消費者としての考えを身に付ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が興味を持ち自主的に活動できる課題を行う</li> </ul>
<b>情報</b>	コンピュータやデータの活用について理解を深め、技能を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎授業で数分間タイピング練習を実施する。</li> <li>・文書作成ソフトや表計算ソフトの実務的な操作練習を行う。</li> <li>・VBAで簡単なシステムを構築しプログラミング的思考を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の社会的課題について自らテーマを選択し、レポート作成(情報収集・データ分析含む)を行う。</li> </ul>